

公開講演会 韓国と日本をつなぐ仕事7

立教大学における朝鮮語教育の模索

立教大学では日本の大学としては比較的早く1980年代から朝鮮語を自由選択科目として設置しましたが、当初は受講者も多くありませんでした。「何で韓国語なんて習うの？」という声が多く聞かれた時代は、それほど昔のことではないのです。

1990年代もまだよいテキストがなく、どのようなコンセプトで教育するかも手探りでした。1997年度以降、第二言語の選択必修科目のひとつとなり、2000年代になってようやく受講者が増え始めました。手探りの時代が長く続きましたが、その後は立教としてのテキストを採用し、韓国への短期研修や交換留学をはじめ多くの学生が意欲をもって学び、卒業生があちこちで活躍するまでに発展してきました。現在は新入生のうち1000人ほどが朝鮮語を選択するようになっています。

立教大学での朝鮮語教育の基礎作りの時代をになった講師から、模索の時代の体験と教訓を伺います。在学生はもちろん、卒業生の皆さん、学外の皆さんもどうぞお越しください。

日時 2023年11月16日(木) 18時00分～20時00分

場所:立教大学池袋キャンパス 8号館8303教室 対面にて開催

講師:石坂浩一(立教大学兼任講師・平コミ運営委員)

講師プロフィール

1958年生まれ。立教大学大学院文学研究科史学専攻で学んだ後、1990年4月から立教大学非常勤講師(朝鮮語担当)、2004年度から2020年度まで立教大学専任教員として朝鮮語教育にたずさわる。著書に『プリティ・コリアン』(共著、2023、朝日出版社)『フレンドリー・コリアン 楽しく学べる朝鮮語』(共著、2004、明石書店)『現代韓国を知るための60章【第2版】』(共編著、2014、明石書店)『北朝鮮を知るための55章【第2版】』(編著、2019、明石書店)など多数。

主催:平和・コミュニティ研究機構

お問い合わせ:立教大学平和・コミュニティ研究機構

peace@grp.rikkyo.ne.jp